



御庄小だより

令和6年9月20日
アンケート臨時号
岩国市立御庄小学校

前期学校評価アンケートの結果について

7月に、前期の学校評価アンケートを実施し、多くの保護者・地域の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。

今回はアンケートの集計結果、そして結果の分析をもとに、今後に向けた努力点等についてお知らせいたします。

児童アンケート

	設 問	とてもそう思う・そう思う(%)	あまり・ほとんど思わない(%)
1	学校に行くのは楽しいですか。	95%	5%
2	授業はわかりますか。	89%	11%
3	授業中に自分の考えと友達の意見を比べていますか。	89%	11%
4	授業で学んだことのふり返りをしていますか。	88%	12%
5	本を読んでいますか。	72%	28%
6	進んであいさつやえしゃくをしていますか。	98%	2%
7	自分たちで考えたこと(企画・発表)を自分の学年以外の人に伝える活動をしましたか。	67%	33%
8	外で遊んだり、運動したりしていますか。	91%	9%
9	友達と仲良く過ごしていますか。	94%	6%
10	たてわり班活動は楽しいですか。	91%	9%
11	友達のよいところをみつけていますか。	95%	5%
12	自分のよいところを知っていますか。	76%	24%
13	困ったことがあったら相談できる人(家族・友達・先生等)がいますか。	93%	7%
14	地域の人と活動することは楽しいですか。	90%	10%
15	地域のために何ができるかを考えたり、行動したりできますか。	85%	15%

保護者アンケート

	設 問	とてもそう思う・そう思う(%)	あまり・ほとんど思わない(%)
1	お子さんは、学校に楽しく通学している。	100%	0%
2	お子さんは、学習内容を理解している。	87%	13%
3	お子さんは、積極的に自分の考えを表現したり、他の人と意見を交流したりする態度が育っている。	80%	20%
4	お子さんは、進んであいさつや会釈ができる。	86%	14%
5	お子さんは、安全な行動(日常の行動・交通安全・不審者対応等)が身についている。	91%	9%
6	お子さんは、放課後や休日に外遊びや運動をしている。	75%	25%
7	お子さんは、まわりの人と仲よく過ごしている。	96%	4%
8	お子さんは、住んでいる地域のことに興味・関心をもっている。	62%	38%
9	お子さんは、読書をしている。	41%	59%
10	お子さんは、自分のよいところや自分らしさを理解している。	74%	26%
11	学校は、安全に過ごせるような環境整備に努めている。	99%	1%
12	学校は、連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。	96%	4%
13	学校は、地域のことを学ぶ学習や地域の方々と連携した活動を行っている。	94%	6%
14	学校は、児童の主体性を大切にした教育活動を行っている。	94%	6%
15	学校は、教育活動について積極的に発信している。	94%	6%

児童の明るさや元気さについて、御庄小の良さとして受け止めていただいています。これからもそんな御庄小の児童が、周りの人も元気にできるような発信力を育てていけるように努めていきたいと考えています。まずは挨拶や会釈から、ということ子どもたちと一緒に大切にしていきたいので、今後とも子どもたちをあたたかく見守っていただけたらと思います。

地域と連携した教育活動について充実してきていると感じていただけているようです。これは多くの皆様の御理解と御協力、そして何より「御庄の子どもたちを御庄で育てる！」という思いに支えられていることです。感謝をお伝えするとともに、地域とともにある学校、そして地域づくりにもつながるような存在になれる学校をめざします。



今後に向けて ～学校・保護者・地域が一体となって～

<「心と行動」に関すること>

- 「学校に行くのは楽しい」の項目について、児童・保護者ともに肯定的回答率が95%を超えています。全ての子どもたちにとって学校は安心・安全で、楽しい場所であってほしいと願っておりますのでうれしく思いますが、100%ではありません。辛い思いや悲しい思いをしている児童が一人でもいるのならば、その解決のために全力を尽くすことを今後も継続していきます。
- 「あいさつ・会釈」に関する項目について、児童の肯定的回答率が高い一方で、保護者の方々は課題を感じられていることがわかります。今年度は「発信する」ということを重視した取組を進めておりますが、あいさつや会釈は人との関わり、つながりの第一歩としてとらえ、これからも学校として大切にしていきたいと考えています。
- 「自分のよいところ」に関する項目について、児童・保護者ともに肯定的回答率が低めです。（児童アンケート「友達のよいところを見つけていますか」という項目では肯定的回答率が非常に高いです。）自分のよさを実感することは自信につながり、様々なチャレンジにつながっていきます。児童が主体となって取り組む活動の中で、自分のよさに気付けるような機会の充実が鍵になると考えています。

<「学力向上」について>

- 「自分の考えと友達の意見の比較」についての項目は、児童・保護者とも昨年度より肯定的回答率が上がっており、授業改善が進んでいることがうかがえます。
- 「授業（学習内容）の理解」に関する項目について、児童・保護者とも、肯定的回答率が90%を下回っています。校内研修の充実を図り、「わかる、できる実感のもてる授業」の実現に努めますので授業の参観などを通じてお気づきをいただけたらと思います。
- 「読書」に関しての項目は、児童・保護者ともに、昨年度に続き、かなり低い肯定的回答率となっています。学校運営協議会での熟議でも、保護者からお悩みの声をいただきました。今年度、図書委員会では「本を通してつながろう！」というチャレンジプロジェクトで、読書への意識向上を図っていくこととしています。読み聞かせ“ひだまりの会”の方も本の楽しさを伝えてくださっています。本の魅力を感じられる機会を学校でも設定していきます。ご家庭でもぜひ、「今読んでいる本」「読んでみたい本」などについて、話題にしてみてくださいたらと思います。

<「地域・環境」について>

- 「地域と連携した教育活動」に関する項目については高い肯定的回答率となりました。昨年度の関連項目と比較しても大きな伸びを見せています。こうした機会を大切にくださっていることに心より感謝するとともに、今後、こうしたつながりをどう生かしていくかということについて、皆様と一緒に知恵を出し合っていけたらと思っています。
- 今年度、学校として力を入れたいと思っている「発信」に関する項目がいくつかありますが、肯定的回答率はまだ高くありません。特に児童アンケート「自分たちで考えたこと（企画・発表）を自分の学年以外の人に伝える活動をしましたか」の項目については肯定的回答率が70%を下回っており、今後の学校教育活動の工夫が必要なところであると考えています。2学期以降、子どもが自分の言葉で、多くの方々に「発信する」機会を設定していきたいと考え、計画しております。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。